



大江山運動公園内の慰霊碑に献花をしたアベリスツイス高校生訪問団の皆さんと与謝野・アベリスツイス友好協会の方々



①弓道体験をする訪問団
②手でコースターを作る高校生
③加悦中学校の生徒との交流
④宮津天橋高校加悦谷学舎の生徒との交流

【アベリスツイス高校生訪問団が与謝野町に】

平和と友情の架け橋を永遠に…。

— 5年ぶり 14回目の受け入れ —

与謝野・アベリスツイス友好協会と与謝野町では、10月26日から11月1日までの7日間、英国ウェールズのアベリスツイスの高校生5人と町長さんをはじめ、8人を受け入れました。

高校生たちは、与謝野町内のご家庭へのホームステイや中学校・高校での交流に加え、ちりめん街道の見学や手織体験などをとおして、日本文化の体験や地場産業である織物に対する理解を深めました。訪問団は町内の美しい風景や食の豊かさ、人々の温かいおもてなしに終始感激されていました。

また、最終日には広島平和記念資料館と原爆ドームなどを訪れ、本事業のきっかけとなった平和の大切さも学ばれました。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

平成4年からは友好の架け橋として高校生の相互派遣交流を進め、さらに、令和5年には山添町長がアベリスツイスを訪問し友好協定を締結するなど、年々交流が深まっています。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

来年は、本町の高校生がアベリスツイスを訪問する予定となっています。今後も交流を深め、この平和が永遠に続きます。

- ・JOC ジュニアオリンピックカップ
- ・国民スポーツ・全国障害者スポーツ大会
- ・日本マスターズ陸上競技選手権

よさののアスリートたち、いざ全国へ。

た けびしスタジアム京都において「日本マスターズ陸上競技選手権 2024 京都大会（9月21日～23日）」が開催されました。与謝野町からは、岡田守さん（幾地／【M75】200m 4位）、小長谷恵子さん（三河内／【W70】4×400m リレー 優勝）、佐々木和代さん（明石／【W45】400m 優勝）、平井琴加さん（四辻／【W40】1500m 3位）の5人が出場。80歳を超えても挑戦を続ける岡田さんに大会の感想などを伺いました。

日本マスターズ陸上競技選手権 2024 京都大会
【M80】4×400m リレー 優勝、100m 出場

おかだ まもる
岡田 守さん（三河内）



旧野田川町の駅伝競争大会や運動会への参加をきっかけに陸上を始め、40歳代からマスターズ陸上に出場してきた岡田さん。昨年、大病を患い片方の腎臓を摘出。手術後、落ち込んでいたとき「一緒にリレーを走ろう」と誘われ、

「腎臓を一つ取っても走れる姿を見せたい」と思い出場を決意。4年ぶりとなるマスターズ陸上は100mと4×400m リレーの2種目で出場し、「リレーでの出場は初めてだった。次の走者にバントを渡したときの達成感は今でも忘れられない」と充実した表情を浮かべ大会を振り返ります。

「継続は力なり」という言葉が好きで、84歳を迎えても体づくりのために日々のウォーキングやジョギング、冬場の縄跳びを欠かさない岡田さん。「何事も続けることが大切で、続けていれば結果がついてくる。来年も出場できるように頑張りたい」と話してくれました。

佐 賀県で開催された「第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会 SAGA2024（10月6日～10日、26日～28日）」に長島広明さん（宮津天橋高校加悦谷学舎1年／ウエイトリフティング男子96kg級 トータル3位）と小塚智子さん（四辻／グラウンド・ゴルフ 団体7位）、石河愛実さんと村上凜果さんが出場しました。また、三重県で開催された「JOC ジュニアオリンピックカップ 第55回 U16 陸上競技大会（10月18日～20日）」に松原志勇さん（江陽中3年／男子走幅跳）が会場。中学校から全国大会を目標に練習を重ねてきた石河さんにお話を伺いました。



グラウンド・ゴルフ競技に出場された京都府代表の皆さん（小塚さん提供）

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」
＜陸上競技の部＞
ジャベリックスロー 4位、50m 5位
4×100m リレー 5位

いし ことみ
石河 愛実さん（与謝の海支援学校 高等部3年）

昨年の京都府大会の結果をもとに、3種目で念願の全国大会出場を手にした石河さん。「印象に残っている種目はリレー」と言い、府内の違う学

校の選手と走るため、月2回の合同練習でバトン渡しができるように取り組んできました。迎えた全国大会は緊張しながらも練習の成果を発揮し、スムーズなバトン渡しで5位入賞。「よい結果は残せなかったけど、悔しさよりも出場できてよかったという気持ちでいっぱいになりました」と笑顔で振り返ってくれました。

